

## 英語授業におけるDVDの活用

—Supplementary Readers と絡めて—

筑波大学附属駒場中・高等学校 英語科

八宮 孝夫

# 英語授業におけるDVDの活用

—Supplementary Readers と絡めて—

筑波大学附属駒場中・高等学校 英語科

八宮 孝夫

## 要約

英語の授業では、生の英語を聞かせるために DVD (映画、ビデオなど) を使用することがよくある。しかし、それは単に娯楽のためでなく、ある目的があって使用されるべきものである。本稿では、文法や語彙の知識を確実にするためにしばしば用いられる supplementary readers (いわゆるサイド・リーダー) と関連付けて、いかに効果的に DVD を活用するか、という試みを報告する。

キーワード : DVD、graded readers、activities、違いの比較、イメージ化、立体的な学習

## 1 はじめに

筆者はこの数年間、学期に1度くらい DVD を見ながら授業を進めている。いくつかの DVD については複数回扱い、効果的と思えるものも出てきたので、その実践報告をし、活用方法についても提案する。

## 2 DVD の活用法

### 2.1 2つの活用法

ここで言う、DVD とは映画などビデオ教材のことである。DVD の活用法は、大きく分けて2つある。

- 1) LL 教室などで、特定の箇所を聞かせながら、自然な発話の中での弱音化や連音化などに注意させリスニングや表現練習を行う。いわば local な使用法と言ってよい。
- 2) 全体を見せ、事前に読ませたものの理解を確認せたり、概要を英語で説明させたりする。また、これから読むものの導入に用いる。こちらは holistic な使用法と言える。

どちらも相容れないものではなく、両者を組み合わせることも可能であるが、両者をフルに組み合わせることは時間的な制約から言っても無理なので、どちらかに重点を置くやり方になるであろう。筆者が本稿で述べるのは、2)の活用法についてである。

### 2.2 DVD : 選択の視点

授業で DVD を扱う場合に、どういう視点が必要だ

ろうか。単に娯楽として見せるのでは、あえて授業時間を使う意味がないであろう。筆者が DVD を選択する場合の基準は以下の通りである :

- ①作品全体に力があり、生徒をひきつけるもの。
- ②難易度が、学習者に適していること。
- ③DVD の原作に基づいた graded readers があること。Graded readers に音声 CD がついていればなおよい。(Oxford, Penguin, MacMillan など)
- ④話の結末が、議論できるようなもの(話の結末に賛成・反対がでそうなもの、DVD と graded readers の結末が異なるもの)
- ⑤出来れば、文法などでも学習ポイントがあるものがよい。

では、具体的に活用例を見ていこう。

### 2.3 中1・11月、2月 : 過去形の導入・定着

#### The Tale of Peter Rabbit and Benjamin Bunny (2002: Pearson Broadband/Pony Canyon)

筆者は *The Tale of Peter Rabbit* をやさしく書き換え、そのイラストを利用しながら、過去形の導入を行った。例えば :

\*Peter went to the garden.

\*He ate some lettuces and radishes.

\*He saw the gate beyond Mr. McGregor.

そのまとめとして、Peter Rabbit の DVD を視聴させた。この DVD には続編である、*The Tale of Benjamin Bunny* も含まれている。こちらは、3学期の入試休業中の課題として本文を読ませ、その後

DVD も視聴した。また、特典として Beatrix Potter と湖水地方の背景の説明もついており、まことに便利である。内容的には、原文どおりのアニメーションであり、議論になる部分はないのであるが、中1ではむしろ内容をそのまま確認できるような題材の方が適しているといえる。

期末考査での扱い：

2 学期の期末考査では、Peter Rabbit のイラストをヒントに出して、文中の ( ) に動詞の穴埋めをさせる問題を出した。3 学期は Benjamin Bunny のストーリーをイラストなしで提示し、その ( ) に動詞の過去形を入れさせる形式にした。2 学期の場合は、動詞の過去形そのものの習得がポイントであるからそこにフォーカスし、3 学期はもう少し話の流れを理解した上で適切な動詞の過去形を入れるというように要求を高くしたのである。3 学期の問題例をあげる (→参考資料 1)。

#### 2.4 中2・4月：中1から中2への橋渡し

20,000 Leagues under the Sea (1954: Walt Disney Legend Collection)

59 期の時には中1から中2になる際に特に橋渡しになるような読み物を読ませなかった反省から、今回の 65 期では春の課題として *Twenty Thousand Leagues under the Sea* (Penguin Readers Level 2: 300 語) を読ませた。筆者は『海底 2 万マイル』は原文でも翻訳でも読んだことがなかったのであるが、この 20 数ページのリトールドものは、大まかな流れとネモ船長の不可思議な存在感をよく出しており、迷わず採用した。急遽決めたため、プリント教材として配布したので、音声は保証できなかった。そこで授業では付属 CD を聞かせ、イラストを示しながら内容を確認し、まとめとして DVD を視聴させた。

1950 年代制作だが当時としては画期的なテクニカラーを採用してあり、最近のデジタル処理した映像に慣れている生徒にもアピールした。リーダーズと DVD では結末が違っており、まだ英語で意見を書かせるにはいたらなかったが、日本語によって意見の違いを書かせた。

期末考査での扱い：

*Two Thousand Leagues under the Sea* の本文要約の穴埋めを出題した (→参考資料 2)。わずかに 1 学期の差であるが、出題英文の分量が大分違って来たことがわかると思う。

#### 2.5 中2・9月：夏課題のまとめ

Tom and Huck (1995: Walt Disney)

1 学期に比較級や不定詞、受身の基礎的なことを扱った。このことのメリットは駒場論集 52 集で触れたとおり、夏休みの graded readers の選択の余地がぐっと広がることも、その 1 つである。59 期でも生徒の反応のよかった *The Adventures of Tom Sawyer* (MacMillan Readers Beginner level: 600 語) CD 付きを課題とし、9 月には 3 回に分けて DVD を視聴させ、また、本文を確認した。本文はすべてを復習するのではなく、いくつかの鍵となる場面について英問英答をし、またサマリーの穴埋めなどをした。以下はその例である：

Muff Potter が法廷で裁かれる場面

T: Scene 2 is Trial at the court

Whose trial was it? - Muff Potter's. Who else was there in the courtroom?

Yes, Injun Joe was there too. Before this scene, these two were in the graveyard.

What did they do there? They dug a dead body out of a grave for ...Dr. Robinson.

What did he want them to do?

He wanted them to take the body to his house. He paid them some money.

But they wanted more money. So they began to fight. Listen to the CD. (Oxford)

\*ここまでのやり取りをした後、CD を聞かせる。

その後、以下のような確認をする。

The doctor hit Joe. Muff Potter took out his knife, but who actually killed the doctor? Injun Joe did.

Who watched this murder? Yes, Tom and Huck.

They saw Injun Joe kill the doctor. Were they going to tell the truth to the police?

No, they decided to keep quiet, since they were very afraid of Injun Joe.

They were too afraid of Injun Joe to tell the truth.

次の回では、以下のような穴埋めをさせた。

This is Muff Potter's trial scene. Injun Joe was there too. Before this scene, these two were in the ( ). They dug a dead body out of a grave for Dr. Robinson. He wanted them to take the ( ) to his house. He paid them some money. But Injun Joe wanted more money. So they began to ( ).

The doctor hit Joe. Muff Potter took out his knife, but the doctor hit him down on the head too. Then, Injun Joe pushed Potter's knife into the doctor's back.

Tom and Huck saw Injun Joe ( ) the doctor. But they decided to keep quiet about this murder, since they were very ( ) of Injun Joe.

But on the trial day, hesitatingly at first, Tom finally spoke out the ( ). This episode shows how just (=fair and honest) Tom was.

また、リーダーズと DVD の結末を含め内容が異なるため、ALT とのティーム・ティーチングでは、どちらのバージョンが気に入っているか、その理由は何か、などをまとめさせた。

<論点になるようなポイントを質問する>

Discussion about Tom Sawyer

\*some points to discuss:

1) What are the good points about the Disney [DVD] version?

2) What are the good points about original [book] version?

3) Images of Tom – any difference between the Disney and the original?

Which do you think is better?

4) Images of Huck – any difference between the Disney and the original?

Which do you think is better?

5) Images of Injun Joe and Muff Potter:

6) Some episodes –which do you think is better [more exciting]?

\*Graveyard scene

\*Cave scene

上のような質問を元に、英語で意見を書かせる。

<リーダーズの方がよい>

I like the original version better. There are two reasons.

First, I imagined Huck is as old as Tom when I read the original version. But in the Disney version, Huck looked older than Tom.

Second, Injun Joe died of hunger in the original version, but in the Disney version, he fell into a deep hole. I think the original version is more realistic and scarier.

So, I like the original version better than the Disney version. (2-A, F)

<DVDの方がよい>

I like the Disney version better. There are three reasons.

First, the Disney version is funnier than the original version. For example, in the “bridge scene”, Becky pushes down Tom into the river and in the “haunted house” scene, Huck picks up Injun Joe's hat with a fishing line with a hook, and so on.

Second, the Disney version's Huck and Tom have deeper friendship than in the original version. Though once Huck was through with Tom, he came to save Tom when he was in danger.

So I like the Disney version better than the original version. (2-A, O)

1 学期に比較級表現を学習した成果が、このような形で現れるといえる。

## 2.6 中2・11月：生徒の自由研究から

*The Adventure of Tintin* (2011: Paramount Pictures)

夏課題で Tom Sawyer 以外に、自由研究として英語の本を読むか英語についての本を読んでレポートにまとめる、という課題を出した。その中で、*The Adventure of Tintin* (『タンタンの冒険』)という英語のコミックスを読んだ生徒がいた。もともとフランスのコミックスを英語訳したものだが、セリフの中に息のいいスラングが多数混じっており、通常の教科書英語ではでてこないもので溢れていた。授業で正式に扱う余裕はなかったが、毎回、4 ページずつ授業の終わりに配布をした。英語は多少難しいが、基本的に漫画なので絵を見れば展開はほぼわかり、文法的に未習のものや特殊なスラングには注釈をつけた。ほぼ配布し終わったところで、DVD を視聴した。今回は内容について議論をしたりはしなかったが、期末考査にはある話の中でキーになるような数コマを出し、どんな場面かを説明させ、また全体の感想を書かせた。

## 2.7 中2・1月：冬課題のまとめ

*The Speckled Band* (1984: UK, ITV / NHK)

冬課題として読ませた *Sherlock Holmes Short Stories* (Oxford Bookworms, Stage 2: 700 語)の内容確認として、3 篇入っているうちの1つを視聴させた。

これは短編で 45 分しかかからない点で便利である。巻末にある Activities と感想、読みどころなどをレポートで提出させた。Activities の中に、Which story did you like best? という設問があるので、その例をあげる：

I liked the Speckled Band best because Holmes could guess the answer perfectly and the murderer was killed by him. I felt refreshed. I don't like the Five Orange Pips because Holes couldn't stop murder. But in the end, the murderer died by the bad weather. So I felt relieved. (2C, S)

I like A Scandal in Bohemia best. Because this story teaches us that sometimes somebody is cleverer than Sherlock Holmes. And in this story, Holmes wanted to get Irene's picture. He has human feelings. So I feel freshness. And Holmes' idea was so clever. I was surprised at his plan. So I like "A Scandal in Bohemia" best. (2C, N)

なお、期末考査では、内容理解の設問を出した。

## 2.8 中3・6月：仮定法の導入

The Wizard of Oz (1939: Warner Platinum Collection)

中学3年になると、それまで他の教員が担当していた LL の授業も筆者が担当することになった。基本的には、*Basic Tactics for Listening* (3rd ed.) を行うのであるが、週1回は LL 教室が使用できるので、それを活かして、各学期に2~3時間を、DVD を見る時間に当てることにした。この DVD を選んだ経緯については、本論集の「英語科」内で述べたので割愛するが、仮定法の表現が豊富に出てくる点に特徴がある。この DVD では、事前にリーダーズを読ませたわけでもなく、これが初見になるので、各パートを視聴したあと、別紙（→補足資料 3）のような内容に関する設問を出した。日本語による字幕がついているとはいえ、英語で答えなければならないのだから、ただ漫然と見る姿勢は抑止することができる。

期末考査では、以下のような設問を出した：

問 The Wizard of Oz で一番印象に残った登場人物は以下のうちのはだれですか。その理由も含めて英語 4~5 文程度で書きなさい。

登場人物：Dorothy, the Scarecrow, The Tin Man, The Cowardly Lion The Wizard of Oz, the Good Witch of the North, The Wicked Witch  
生徒の解答例は以下のとおり：

I like the Scarecrow very much. Because he is the first friend of Dorothy in the Dream land. And he sings a very interesting song. He is very good at singing songs. [Besides] He helped Dorothy to go back to her home. He is a kind man, sorry, a kind scarecrow. For these reasons, I like the Scarecrow best. (3-A, M.)

## 2.9 中3・11月：英語のバリエーションを知る

Murder on the Orient Express (1974: Paramount Pictures)

この実践については、ほとんど本論集の「英語科」の項で説明したので割愛するが、一つだけ述べるならば、1 学期と同様に、今回の DVD も事前に graded readers を読ませるなどせずに、視聴させたものである。従って、登場人物や車両の地図などを事前に配って理解を助けた。また、*Murder on the Orient Express* (Penguin Readers Level 4: 1700 語 CD 付き) もあるということを確認した上で、行ったものである。また、DVD も NHK で放映した別のバージョンもあったので、それも比較検討して上記の DVD を使用した。

期末考査の出題についても、上記の項を参照されたい。

## 2.10 中3・1月：中学英語のまとめとして

Romeo and Juliet (1968: Paramount Pictures)

筆者が以前担当した学年でも用いたもので、反応も良かったため今回も視聴させることにした。事前に冬課題として読ませたものであるが、前回使用したのは *Romeo and Juliet* (New Easiest Series 開隆堂出版) で平易なリーダーズであった。今回は、当初 Penguin Readers (Level 3: 1200 語 CD 付き) を使おうと考えたが、その後 MacMillan Readers (Level 4: 1400 語) を見つけ、有名なセリフがいくつか原文で載っている点に惹かれ、そちらを採用した。

具体的には、冬課題としてテキスト巻末にある Points for Understanding (内容理解のための質問) の解答と読後の感想 (なるべく英語で) を3学期始めに提出させ、授業3時間を DVD 視聴に当てた。各回視聴後、Points for Understanding の解答を確認した。中には、テキストにはあるが DVD にはない場面、異なる場面もあり、解答が2種類出る場合もあった。逆に言えば、DVD での違いに気づくということはテキストをしっかりと読んだという証明にもなる。3時間連続で見せたのではなく、1時間見せたら、次の時間は

その場面で出てきた有名なセリフを原文で扱った。結局、シェイクスピアの作品は、単に筋がわかればいい、というだけではもったいない。有名なセリフは原文のまま覚えなければ意味がないのである。

幸い、DVD のセリフは全て原文通りであるから、全体の筋は、リーダーズでつかませ、いくつかのシーンは DVD 視聴後、原文で再度提示する、という方法をとった。ロミオとジュリエットが最初に出会って言葉を交わすシーンは、弱強のリズムで脚韻を踏んだソネット(14行詩)になっているのである。映像と字幕だけを見て単なるセリフと思っていた生徒は、実際にはそのような工夫が潜んでいることを知り驚いていた。

言語は、確かにコミュニケーションの道具であるが、それと同時に言語には詩的機能というものもある。中学の英語を終えるにあたって、そんな点にも気づいて欲しいという思いでこの作品を扱った次第である。

生徒の英文感想例を挙げる：

This story is a very sad story, because Romeo and Juliet died. They loved each other but their families were in bad relationship. The essential reason of their death was that. I wondered why their families didn't notice that they should make up. If they [had] noticed it earlier, Romeo and Juliet [would not have] died. I think this story told us that a fight produced nothing. I agree with this opinion. In the world, there are many fights like war. But always it caused bad things. And both sides would be sad. (3-B, A)

なお、シェイクスピア時代の芝居がどのように上演されていたか、当時の芝居小屋がどんな作りになっていたかを見せるには *Shakespeare in Love* (邦題『恋に落ちたシェイクスピア』)(1998: Miramax Films)が、参考になる。特に後半の 20 分程度、劇中で「ロミオとジュリエット」の芝居を演ずるシーンがあり、どの場面であるかはすぐにそれとわかるので、復習にもなる。また芝居の始めに prologue (前口上)があるが、これは「ロミオとジュリエット」のアウトラインをソネット形式で述べたものであり、暗唱するに値する部分である。

### 3 高校英語での活用例：概観

これまで、中学英語での DVD 活用例を見てきたが、ここで高校英語での活用例を概観する。まず、筆者がこれまで行ってきたものを紹介し、次にこれからの可

能性についても述べる。

#### 3.1 これまでの実践例

##### ① 高 1・1 学期 *Beowulf* (2007: Paramount Pictures)

1 学期の授業で *Beowulf* (Black Cat: pre-intermediate)を扱い、そのまとめとして視聴したもの。原作とはだいぶかけ離れた部分もあるが、比較するには良い。

##### ② 高 1・2 学期 *Stand by Me* (1986: Columbia Pictures)

夏課題として、映画の原作に当たる *The Body* (Penguin Readers: Level 5, 2300 words)を読ませたあと視聴させた。やはり、原作と映画で重要な場面が異なるので、議論させるのに良い。

##### ③ 高 2・1 学期 *Many Adventures of Winnie the Pooh* (1977: Walt Disney)

1 学期の授業で、原文の *Winnie-the-Pooh* を扱った後に視聴したもの。ディズニーのアニメ版は原作の話を少し演出したものが多く、どちらが好みかで意見が分かれる。それぞれに特性があり、高校で扱っても決して侮れない作品である。

##### ④ 高 2・9 月 *The Merchant of Venice* (2004: Sony Pictures)

夏課題として『新シェイクスピア物語』(成美堂)を読ませたあとに視聴。シャイロックやポーシャの有名なセリフがあり、また、誰が中心の話なのかも議論になるところ。

#### 3.2 今後の可能性

筆者は高校 2 年の 3 学期にリンカンの Gettysburg Address を扱うことにしているが、これまでは特に映像なしで、背景知識も参考図書を通じて扱ってきた。しかし、*Lincoln* (2012: 20th Century Fox)ができ、また *Saving Lincoln* (2013) も作られたようである。これらを活用することで、視覚的にも補足できるのではないかと考えている。

また、筆者はオーソン・ウェルズのラジオドラマ『宇宙戦争(The War of the Worlds)』も、教材化したいと考えている。これも同名の映画(2005: Paramount Pictures)があり、音声のみのドラマと、視覚的な映画との比較は興味深い。

また、ミュージカルの『キャッツ(Cats)』も面白い教材になるのではないかと思う。もともと、T.S. Eliot の *The Old Possum's Book of Practical Cats* という一連の

ユーモラスな詩から生まれたものである。詩の教材として学習しながら、劇団四季の映像を見たり、本場英国の *Cats* を CD で聞く、というのも刺激的であろう。

#### 4 おわりに

英文に限らず、ある作品を読んだ場合、それぞれの読み手の頭にはそれぞれのイメージ、映像が浮かぶはずである。DVD を見るということは、自分の持つイメージとプロの監督や役者が作り上げたイメージとを無意識のうちに比較する作業である。そこで起こる頭の中のリアクションが、自分の読んだものの理解を改めて問うことにもなり、作品をより深く味わうきっかけになるのではないかと思う。映像や音声だから、(字幕があっても) 必然的にリスニングの訓練になる。また、自分の思った感想を英文で表現すればライティングの、また互いの意見を交換しあえばスピーキングの練習にもなる。作品を読むというリーディングから、DVD を活用することで立体的な学習が可能になるといえよう。

と同時に、作品を読んで感じる世界は時として映像をはるかに超える場合もある。シェイクスピアの表現世界などはまさにそれだろう。アンブローズ・ビアスの短編などにもそれを感じる。逆説的だが、DVD を見ることによって、文字表現の持つ無限の力を改めて感じることもなるのではないだろうか。

#### 《参考》

本稿で紹介した DVD と関連させて読ませた supplementary readers を中 1 から順に、総語数も添えて、あげておく。

1 *The Tale of Peter Rabbit* (総語数 943 語)

2 *The Tale of Benjamin Bunny* (総語数 1128 語)

→ただし以上 2 つは、筆者が過去形の部分を中心に易しく書き換えたものを読ませたので、上記をそのまま使用したわけではない。

3 *Twenty Thousand Leagues under the Sea* (Penguin Readers Level 2: 300 語) (総語数 4402 語)

4 *The Adventures of Tom Sawyer* (MacMillan Readers Beginner level: 600 語) (総語数 7681 語)

5 *Sherlock Holmes Short Stories* (Oxford Bookworms, Stage 2: 700 語) (総語数 7000 語)

6 *Martin Luther King* (Penguin Readers, Level 3) (総語数 9582 語)

→DVD と関連付けなかったので本稿では扱わなかったが、中 3 夏課題として読ませたもの。

7 *Romeo and Juliet* (MacMillan Readers (Level 4: 1400 語) (総語数 15606 語)

8 *Beowulf* (Black Cat: pre-intermediate) (総語数 7450 語)

9 *The Body* (Penguin Readers: Level 5: 2300 words) (総語数 20921 語)

10 『新シェイクスピア物語』(成美堂) (語彙レベルは不明だが、大学の教養課程で用いるタイプの本)

以上のとおり、語彙レベル的にも、総語数的にも比較的無理のないステップを踏んで読ませてきたことがわかる。

補足資料 1 中 1、3 学期末考査  
(Benjamin Bunny の内容理解と過去形)

5 次の英文を読み、設問に答えなさい。(15 点)

One day, little Benjamin Bunny ( 1 ) on Peter Rabbit. Peter was dressed in a red handkerchief – his clothes were on the scarecrow in Mr. McGregor’s garden now!

Peter and Benjamin went to the garden for his [ ア ]. They stood on the top of the wall. Benjamin climbed down a pear tree but Peter ( 2 ) down head first. First, Peter ( 3 ) back his coat and shoes. Then, he and Benjamin ( 4 ) onions in his handkerchief.

On their way back, they saw something – a big cat was ( 5 ) ahead of them. They ( 6 ) under a large basket, but it was not [ イ ] for them – the cat came to the basket and ( 7 ) on it for *five hours*.

Now it was late in the afternoon. Just then, old Mr. Benjamin Bunny came up on the top of the wall. He was ( 8 ) for his son. He had a switch in his hand.

Old Mr. Bunny ( 9 ) badly about cats: he jumped off the wall and ( 10 ) the cat. He kicked it into the greenhouse and locked it. In this way, he saved Peter and little Benjamin. He whipped his son with the little switch.

When Peter ( 3 ) home, his mother ( 11 ) him. She was very glad to see that he had his shoes and coat.

設問

1 ( 1 )～( 11 )の空所に、以下の動詞から選び、適切な形にして入れなさい。  
ただし、( 3 )には 2 度、同じ動詞の形が入ります。 (1 x 11=11)

\*attack \*call \*fall \*forgive \*get \*hide  
\*lie \*look \*put \*sit \*think

2 [ ア ]には適切な名詞を、[ イ ]には適切な形容詞を1つずつ書きなさい。  
(1 x 2=2)

3 次の 1 文を本文中に入れるとしたら、どこが適切か。それを入れる直前の 3 語 (つまり、直前の文の最後の 3 語) を書きなさい。 (1)

During that time they couldn’t escape.

4 下線部のような行為をしたのは何故だと考えられるか、日本語で理由を書きなさい。  
(1)



1 20,000 Leagues under the Sea の要約を読んで設問に答えなさい。(14)

When the *Nautilus* was sailing near the coast of Australia, it stopped suddenly – the *Nautilus* was 1( ) on a coral reef! Aronnax, Conseil and Ned Land went to the coast and got a lot of fruit and dead animals for food. Then, a rain of spears was coming from the Papuans – they were going to 2( ) these men. Next morning, there were a lot of Papuans on the *Nautilus*, but in the afternoon it started to 3( ) – the sea was up and the submarine was in water again! The *Nautilus* was sailing away from the Papuans.

The *Nautilus* went across Indian and Arabian waters and into the Red Sea. Then, surprisingly, it went through an underwater 4( ) and got to the Mediterranean in one day! When the *Nautilus* was near the coast of Portuguese and Spain, Ned Land was going to 5( ). But suddenly, the *Nautilus* stopped on the sea floor – Captain Nemo’s men were collecting gold from old boats there not for themselves but for 6( ) people. Ned Land lost the chance to escape.

The next day Nemo took Aronnax to the sea floor in the Atlantic again – they saw old houses and buildings there: 7( )!

(5) After sailing many weeks, the *Nautilus* came in the sea of the Antarctic. Nemo and his men were going to be the first people at the 8( )( ), but they had to go under the thick ice for that. At one time, there was ice all around the *Nautilus* and it couldn’t move! Captain Nemo and his men were trying to make a hole in the 9( ) and finally the *Nautilus* got out of the ice.

(6) After the visit to the Antarctic, the *Nautilus* sailed up to British waters. There was a big noise (*Boom!*) from a big boat. It was 10( ) the *Nautilus*. Captain Nemo wanted to fight back - the *Nautilus* went into the boat and sank it. Later the *Nautilus* went up into the seas of the 11( ).

One day, Ned Land was going to escape from the *Nautilus* together with Aronnax and Conseil. Just then...

1) ( ) 1～11 に適語を入れなさい。(1x11=11)

2) 下線部のように計画したが、3 人はどのようにして助かるのか、結末を日本語で説明しなさい。(3)

65 期中 3 英語 1 学期 2 3・1

6/10/13

LL: Watching DVD: The Wizard of Oz (1)

In 1939, Kansas farm girl Dorothy Gale (and her pet dog Toto) lives with her Aunt Em, Uncle Henry and her farmhands Hunk, Zeke and Hickory, but gets little attention and is told to stay out of the way. One day, Land owner Miss Gulch arrives and ...

1) What was the trouble with Miss Gulch?

---

2) What was she going to do?

---

3) What was Dorothy going to do then? Who did she meet?

---

4) What happened on her way back home?

---

5) Who was Miss Glinda? Who were Munchkins?

---

6) Where did the Wizard of Oz live?

---

7) Who did Dorothy meet on her way to see the Wizard of Oz?

---



Somewhere over the rainbow, way up high  
There's a land that I've heard of once in a lullaby.  
Somewhere over the rainbow, skies are blue  
And the dreams that you dare to dream,  
Really do come true.

Someday I'll wish upon a star  
And wake up where the clouds are far behind me.  
Where troubles melt like lemon drops,  
High above the chimney tops,  
That's where you'll find me.